はじめに

本市では、平成 24 (2012) 年 8 月に成立した「子ども・子育て関連 3 法」に基づく「子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、平成 27 (2015) 年 3 月に「第一期大竹市子ども・子育て支援事業計画」を、令和 2 (2020) 年 4 月に「第二期大竹市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、これまでさまざまな子育て支援に取り組んできました。

昨今、少子化の進行や先行き不透明な経済情勢などを背景とした子ども・子育て世帯を取り巻く環境は厳しさを増すとともに、母親の就業率の上昇、幼児教育・保育の無償化などの影響により、保育ニーズは依然高い状況にあります。また、子どもの貧困や児童虐待の問題なども深刻化しており、様々な子育て支援策や、高度な専門性が要求される児童福祉・母子保健の一体的な取組が求められています。

一方、国においては、令和 5 (2023) 年に「こども基本法」を施行し、こども施策の基本的な方針等を定める「こども大綱」を閣議決定しました。こども大綱では、「こどもまんなか社会」の実現のため、これまで以上に社会全体で、子どもに関する施策を推進していくことを求めています。

こうした状況の中、本市では、『子ども・保護者・地域 みんなの笑顔と元気がかがやくまち おおたけ ～みんなでつくろう「おおたけ子育て好循環 (サイクル)」～』を基本理念とし、「すべての子どもが健やかに成長できるまち」「すべての親が子育ての喜びを実感できるまち」「地域と市民が『子どもの育ち』と『子育て』に寄り添い、支えるまち」を基本目標とした本計画を策定いたしました。本計画に沿って子どもたちの健やかな成長と子育てを支えるとともに、一人ひとりの子どもや保護者の幸せにつながるよう様々な施策を展開し、総合的な支援に取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画策定にあたり、多大なるご尽力をくださいました大竹市子ども・子育て会議の委員の皆様をはじめ、ニーズ調査などにご協力くださいました市民の皆様に心から感謝申し上げます。

令和 7 (2025) 年 3 月

大竹市長 入 山 欣 郎